

V175

KSJV175D/BSJV175D-A1806

セイコーウオッチ株式会社

SEIKO

取扱説明書

I N S T R U C T I O N S

SOLAR CHRONOGRAPH DIVER'S

V175

D-11

この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

- ※ 金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。
ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、
弊社お客様相談窓口へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくは
お取扱いいただけない場合があります。
- ※ 商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。
必ずはがしてお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、
水分などが付着してさび発生の原因となります。

目次

1. この製品について	3. ストップウォッチの使いかた
製品取扱上のご注意 4	ストップウォッチ機能について 26
潜水に際しての注意事項 (必ずお読みください) 10	ストップウォッチ機能部の名称と はたらき 26
回転ベゼルの使いかた 14	ストップウォッチご使用前の確認 27
特長 16	ストップウォッチの使いかた 29
各部の名称と主なはたらき 17	4. ソーラー充電機能について
V175 : ストップウォッチ ・ 24 時間表示つき 17	充電について 33
ねじロック式りゅうずについて 18	充電のしかた 33
ねじロック式ボタンについて 19	充電にかかる時間のめやす 34
2. 時刻・日付の合わせかた	エネルギーについて 35
時刻・日付の合わせかた 20	
時刻と日付の合わせかた 20	
月末の日付修正について 24	

5. ご注意いただきたいこと	6. 困ったときは
お手入れについて 36	ストップウォッチ針 (1 / 5 秒・分) の基準位置を合わせる 52
性能と型式について 37	こんなときは 56
耐磁性能について (磁気の影響) 38	万が一、充電しても動かない、 または異常な動きになったとき 60
バンドについて 40	システムリセットをする 60
ダイバーアジャスターの使いかた (ダイバーアジャスターつきモデルの場合) 43	7. 製品仕様
ダイバーエクステンダーの使いかた (ダイバーエクステンダーつきモデルの場合) 45	製品仕様 62
ルミブライトについて 47	
使用電源について 48	
アフターサービスについて 50	

2

3

製品取扱上のご注意

この製品について

警告

ご使用前に必ずお読みの上、必ずお守りください。

警告

潜水中は、本取扱説明書で指示された操作以外は絶対にしないでください。誤った使い方をされ、表示内容の正しい理解を怠ると、死亡事故または重症事故につながる可能性があります。

警告

ダイバーズウォッチは主に時間経過を表示する補助計器であり、使用者の安全を保障するものではありません。安全のためダイビング用に必要とされる機器 (残圧計、水深計等) を併用することが必要です。

警告

ヘリウムガスを使用する「飽和潜水」には絶対に使用しないでください。

警告

スキューバダイビングの正しい訓練を受け、安全な潜水に必要な不可欠な経験と技術を有し、本製品の操作と取り扱いを完全にマスターし、毎回の潜水前に本製品をすべて点検してください。そうでなければ、本製品を使用する潜水は行わないでください。

4

この製品について

注意

ご使用前に必ずお読みの上、必ずお守りください。

注意

潜水 (飽和潜水を除く) の前に次の項目を点検してください。

- ・時計が正常に作動しているか
- ・電池やぜんまいの残量は十分か
- ・回転ベゼルの回り具合は良好か (ゆるすぎたり、きつすぎたりしないか)
- ・りゅうず等のねじをしっかりとめてあるか
- ・バンドとガラスに傷、ひび等の異常がないか
- ・バンドの固定は確実か (ばね棒、とめ金、その他)

※これらに異常が認められる場合は、ダイビングには使用しないでください。

注意

水中でのりゅうずやボタンの操作はしないでください。

注意

ダイバーズウォッチの使用環境は、ケースやバンド以外に内部の機械にもその影響を与えることがありますので、2～3年に一度をゆやすに、定期的な点検調整のための分解掃除 (オーバーホール) をおすすめします。

5

 危険

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

- ・ 次のような場合、ご使用を中止してください
 - 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
 - バンドのピンが飛び出してきた場合
 ※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
- ・ 乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品・電池を置かないでください

部品や電池を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
万が一飲み込んだ場合、または飲み込んだ疑いがある場合は、身体に害があるためただちに医師とご相談ください。短時間で化学やけど、粘膜組織の貫通などを引き起こし、最悪の場合は死に至ることがあります。
- ・ 時計から電池を取り出さないでください

電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
電池は充電しないでください。
破裂・発熱・液漏れ・破損などのおそれがあります。

 注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

- ・ 以下の場所での携帯・保管は避けてください
 - 揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
 - 5℃～35℃を外れる温度に長期間なるところ
 - 磁気や静電気の影響があるところ
 - 強い振動のあるところ
 - 高湿度なところ
 - ホコリの多いところ
- ・ アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。
- ・ その他のご注意
 - 金属バンドの調整は専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
手や指などにけがをする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
 - 商品の分解・改造はしないでください。
 - 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
けがやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
 - 使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
 - 掲げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
衣類や手・首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

 危険

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

- ・ 文字板や裏ぶたの深度表示をしっかりと確認し、それ以上深い場所でのご使用はお避けください
- ・ 潜水中は、本取扱説明書で指示された操作以外は絶対にしないでください

表示内容の正しい理解を怠り、誤った使い方をされると死亡事故または重症事故につながる可能性が有ります

 注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

ダイビングでの使用にあたっては、各種のダイビングに関する安全教育やトレーニングを受け、ルールを守ってご使用ください

 注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください

時計内部に水分が入ることがあります。

※ 万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

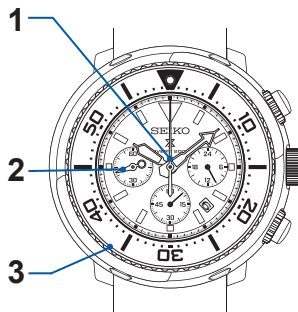
1 潜水に際しての注意事項 (必ずお読みください)

■ 潜水前

潜水の前に、次の項目を点検してください。

※「各部の名称」→ P.17

- ① 時刻が正確にセットされているか。
- ② 秒針が1秒ごとに動いているか。
2秒ごとに運針している、または秒針が停止している場合は、文字板に光をあてて充電してください。 ※「充電について」→ P.33
- ③ 回転ベゼルの回り具合は良好か。
(ゆるすぎたり、きつすぎたりしないか。)
※「回転ベゼルの使いかた」→ P.14



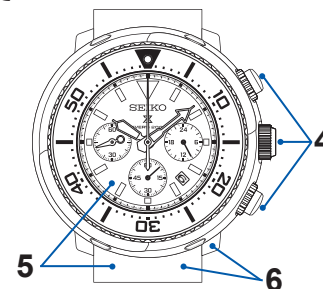
10

- ④ りゅうずとボタンのねじをしっかりとめてあるか。

※「ねじロック式りゅうずについて」→ P.18
※「ねじロック式ボタンについて」→ P.19

- ⑤ バンドとガラスにひび、カケ等の異常がないか。

- ⑥ バンドの固定は確実か。
(ばね棒、とめ金、その他)



△ 注意

万が一、異常が認められた場合はお買い上げ店、またはお客様相談室にご相談ください。

11

■ 潜水中

次の項目をご確認の上、ご使用ください。



空気潜水において、文字板などに表示された深度までの範囲でご使用ください。



水中でのりゅうずやボタンの操作はしないでください。



岩などにぶつけないように注意してください。



回転ベゼルは水の中ではやや回転がきつくなることがありますが、異常ではありません。

12

■ 潜水後

潜水後のお手入れは、次のように行ってください。



必ず真水でよく洗ってから、ふき取ってください。
直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。



△ 注意

ダイバーズウォッチの使用環境は、ケースやバンド以外に内部の機械にもその影響を与えることがありますので、2～3年に一度をめやすに、定期的な点検調整のための分解掃除（オーバーホール）をおすすめします

13

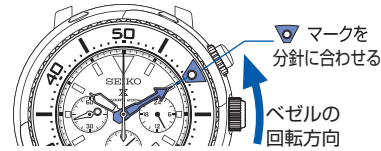
回転ベゼルの使いかた

回転ベゼルを使って、経過時間を測定することができます。

① 時間の測定を開始するタイミングで (例) 10時10分に潜水を開始した場合

(例えば潜水開始時に)、
▼ マークを分針に合わせる

※ 回転ベゼルは、反時計方向にしか回転させません。
無理に時計方向へ回さないでください。
逆回転防止ベゼルについて → P.15



② 分針が指す回転ベゼル上の目盛を読む (例) 20分経過後

分針が指す回転ベゼル上の目盛が経過時間です。



※ モデル(デザイン)はお買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

特長

この時計はストップウォッチ機能を搭載したソーラーウォッチです。

- ・センター針で1/5秒単位を計測する本格ストップウォッチ機能を搭載しています。
- ・ソーラーパネルで受けた光を「電気エネルギー」に換え、時計を動かしています。

※ クロノグラフとはストップウォッチ機能のついた時計のことです。

■ ストップウォッチ機能…… 1/5秒単位で計測できます。計測時間は60分です。
→ P.26 60分経過すると自動的に停止します。

■ ソーラー充電機能……… 文字板の下にあるソーラーセルで、光を電気エネルギーに換え、充電します。
→ P.33 フル充電で約6ヶ月間動きつづけます。

■ 空気潜水用防水性能……… この時計は、空気ポンペを使用する潜水向け仕様として、長時間の水中使用に耐えうる耐水性能を備えています。
(ヘリウムガスを使用する「飽和潜水」には使用できません。)

【逆回転防止ベゼルについて】

ダイバーズウォッチでは、潜水時間がエア残量に影響するため、ベゼル上での経過時間が実際の潜水時間よりも短くならないように、反時計方向にしか回転しない構造になっています。

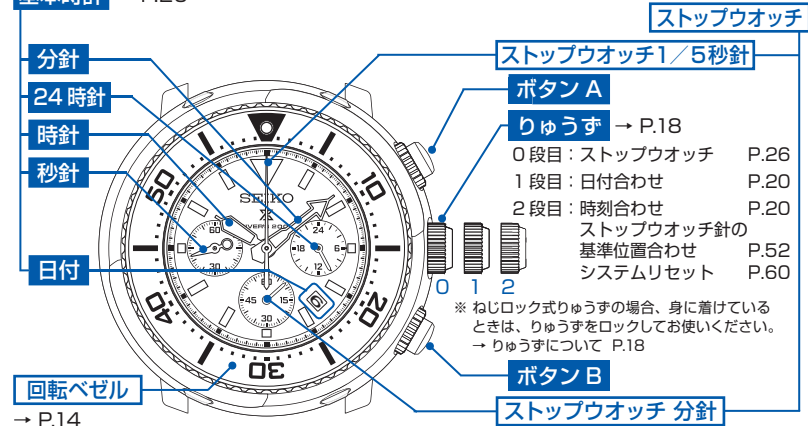
⚠ 注意

潜水時にはエア残量の確認をしっかりと行い、
回転ベゼルによる経過時間は一つのめやすとお考えください

各部の名称と主なはたらき

基本時計 → P.20

→ P.26



ねじロック式りゅうずについて

誤動作の防止と防水性の向上のために、使わないときはりゅうずをねじでロックできる構造です。

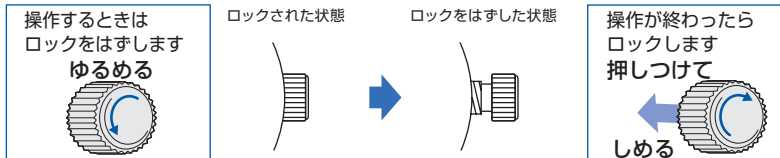
- りゅうずを操作するときはロックをはずしてください
- 操作が終わったらロックをしてください

【ロックのはずしかた】

りゅうずを左（下方向）に回してください。ねじがゆるんで、りゅうずが操作できるようになります。

【ロックのしかた】

りゅうずを時計本体に軽く押しつけながら、右（上方向）に止まるまで回してください。



※ ロックをするときは、ねじのかみあい具合に注意してゆっくりと押しながら回してください。無理に押し込むと、ねじ部（ケース）を壊す恐れがありますのでご注意ください。

ねじロック式ボタンについて

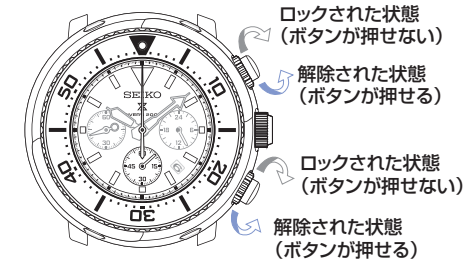
誤動作の防止と防水性の向上のために、使わないときはボタンをねじでロックできる構造です。

【プッシュボタンの解除】

- ・ボタン外周のリングを左に回してください。
- ・ボタンを押すことができるようになります。

【プッシュボタンのロック】

- ・ボタン外周のリングを右に回してください。
- ・ボタンを押すことができなくなります。



- 必要以上に回すと、ねじロックボタンを元に戻しにくくなりますのでご注意ください。
- ダイビングの前に、両方のボタンがしっかりとロックされていることを確認してください。
- 時計がぬれているとき、もしくは水中にあるときは、ボタンを操作しないでください。

時刻・日付の合わせかた

■ 時刻と日付の合わせかた

※ 日付のみ修正をするときは、「月末の日付修正について P.24」を参照してください。

① 時計が動いていることを確認する

秒針が1秒ごとに運針していることを確認してください。
2秒ごとに運針している、または秒針が停止している場合は、文字板に光をあてて充電してください。→ 充電について P.33

② 時計の針が午後9時～午前1時でないことを確認する

時計の針が午後9時～午前1時のときは、りゅうずを2段目まで引き出して回し、一旦時刻を午前1時よりも進めておきます。

※ 日付を回す歯車を、きちんとかみ合わせるための動作です。

※ 時計を2周させるごとに、日付が「1日ぶん」修正されます。りゅうずを回したときに日付が変わるところが午前0時です。午前・午後を確認して合わせてください。（V175は24時間表示で午前・午後が確認できます。→ 各部の名称と主なたらしき P.17）

③ りゅうずを1段引く

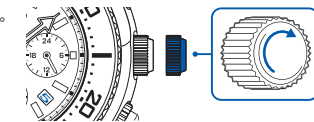
- ※ 時計は動き続けます。
- ※ ねじロック式りゅうずの場合は、ロックを外してください。→ りゅうずについて P.18



④ りゅうずを矢印の方向に回し、日付を前日に合わせる

- ※ りゅうずを矢印と反対方向に回しても日付は動きません。

例：合わせたい日付が「6日」のときは「5日」に合わせます。

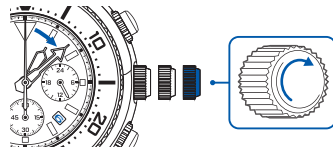


⑤ 秒針が0秒位置になったときにりゅうずを2段目まで引く

- 秒針が0秒位置で止まります。



- ⑥ 時計回りに針が進むように、矢印の方向にりゅうずを回し、合わせたい日付になるまで針を進める

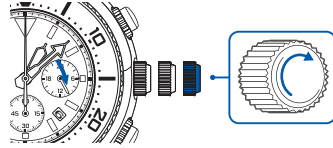


- ⑦ 時計回りに針が進むようにりゅうずを矢印の方向に回し、基本時計の時刻を合わせる

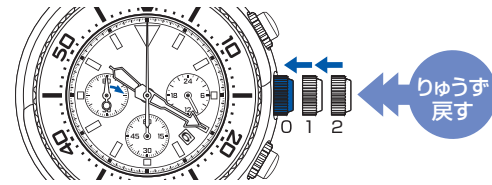
午前・午後を確認して時刻を合わせてください。

※ 24時間表示で午前・午後が確認できます。

※ 正確な時刻に合わせるために、合わせたい時刻の4分～5分先まで進めてから針を戻して合わせてください。



- ⑧ 時報などに合わせてりゅうずを押し戻す操作は完了です。時計が動きはじめます。
※ ねじロック式りゅうずの場合はロックをしてください。→ P.18



次のページに続く

■ 月末の日付修正について

この時計の日付表示は、1日～31日となっています。小の月(2、4、6、9、11月)が終わった翌日などに、日付修正を行ってください。

※ 日付のみ修正をするときも、この操作を行ってください。

- ① 時計が動いていることを確認する

秒針が1秒ごとに運針していることを確認してください。

2秒ごとに運針している、または秒針が停止している場合は、文字板に光をあてて充電してください。→ 充電について P.33

- ② 時計の針が午後9時～午前1時でないことを確認する

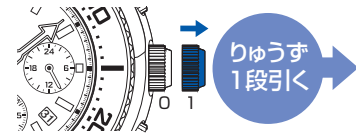
午後9時～午前1時のときは、「時刻と日付の合わせかた P.20」で合わせるか、時間帯を変えて合わせてください。

- ③ りゅうずを1段引く

※ 時計は動き続けます。

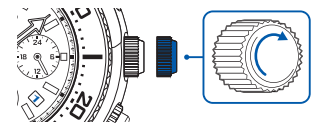
※ ねじロック式りゅうずの場合は、ロックを外してください。→ りゅうずについて P.18

例：「31日」から「1日」に修正するとき



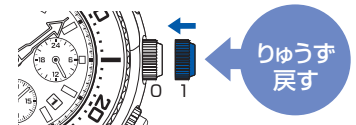
- ④ りゅうずを矢印の方向に回し、日付を合わせる

※ りゅうずを矢印と反対方向に回しても日付は動きません。



- ⑤ りゅうずを押し戻す

※ ねじロック式りゅうずの場合はロックをしてください。→ P.18



ストップウォッチ機能について

1 / 5 秒単位で最大 60 分まで計測できます。60 分計測後は、0 分 0 秒位置に針が停止し計測がリセットされます。

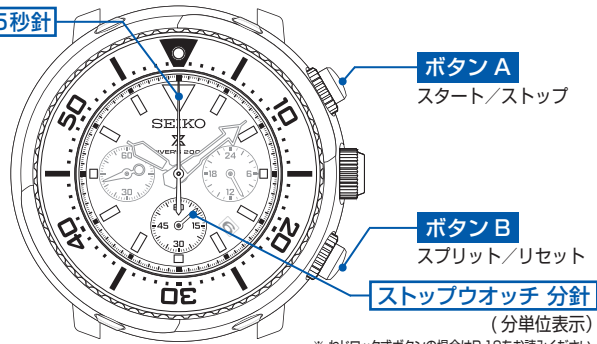
■ ストップウォッチ機能部の名称とはたらき

3

ストップウォッチ 1 / 5 秒針

(1 / 5 秒単位表示)

ストップウォッチの使いかた



26

■ ストップウォッチご使用前の確認

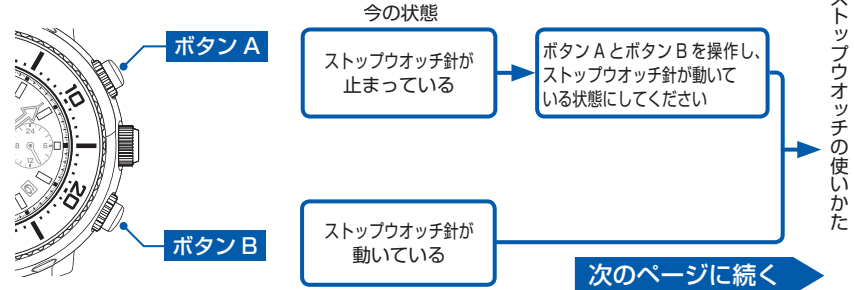
ストップウォッチをご使用前に、リセットをしてストップウォッチ針 (1 / 5 秒・分) が「0 秒・0 分」位置に停止しているかご確認ください。

ストップウォッチのリセットのしかたは、下図をご確認ください。

※ 秒針が 2 秒ごとに動いているときは、ストップウォッチの操作をしても作動しません。 → エネルギーについて P.35

・リセットのしかた

※ ストップウォッチはりゅうず 0 段目で操作できます。



3

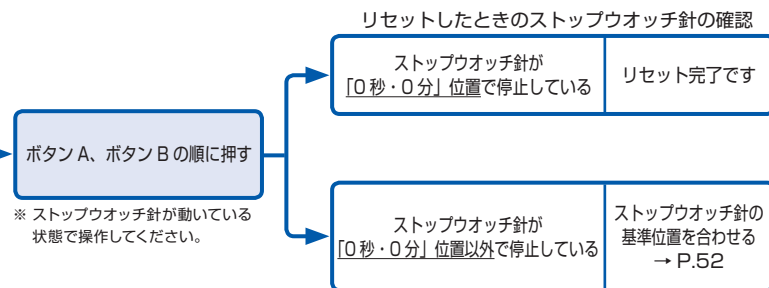
ストップウォッチの使いかた

27

リセットしても「0 秒・0 分」位置に停止しないときは、基準位置を合わせてください。
→ ストップウォッチ針 (1 / 5 秒・分) の基準位置を合わせる P.52

3

ストップウォッチの使いかた

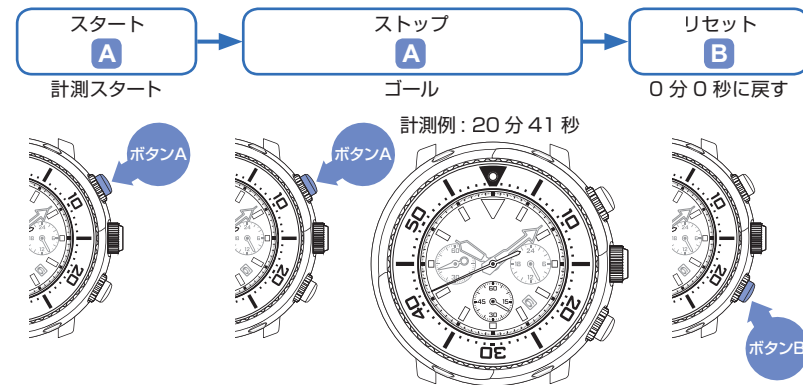


28

ストップウォッチの使いかた

※ 秒針が 2 秒ごとに動いているときは、ストップウォッチの操作をしても作動しません。 → エネルギーについて P.35

・通常の計測 例：5000 メートル走

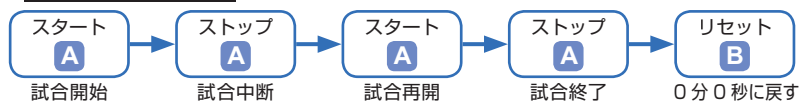


3

ストップウォッチの使いかた

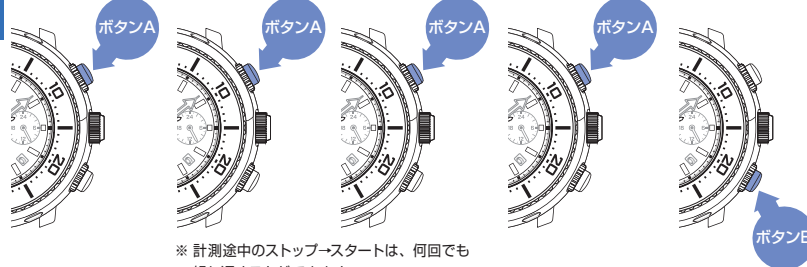
29

・積算で計測を行う場合 例：サッカーの試合時間計測



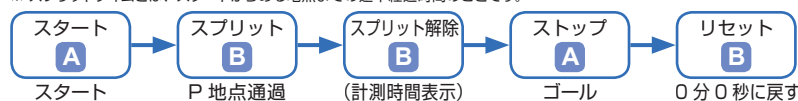
3

ストップウォッチの使いかた



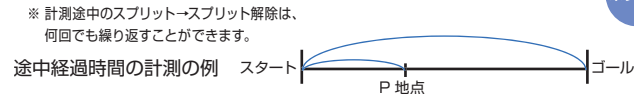
・スプリットタイム（途中経過時間）の計測 例：5000m走

※スプリットタイムとは、スタートからある地点までの途中経過時間のことです。

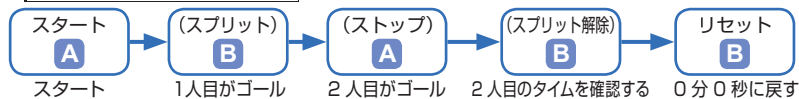


3

ストップウォッチの使いかた

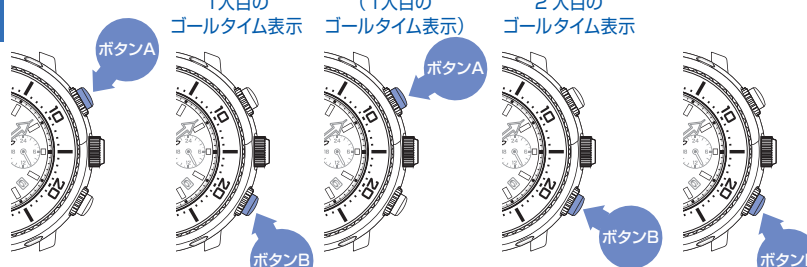


・2人のタイムを計測する場合



3

ストップウォッチの使いかた



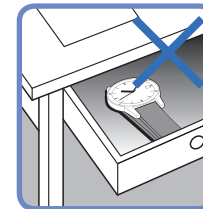
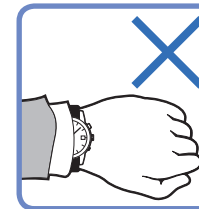
充電について

■ 充電のしかた

文字板に光をあてて充電してください。



快適にご使用いただくために、十分な充電をすることを心がけましょう。



以下の状況では充電不足によりエネルギーが切れ、時計が止まる可能性が高くなります。
・時計が衣類のそでの中に隠れている
・光のあたりにくい環境での使用や保管が続く

※充電の際は、時計が高温にならないようご注意ください。(作動温度範囲は-10℃~+60℃です。)

※使いはじめ、または充電不足で停止していた時計を駆動させるときは、34ページの表をめやすに十分な充電をしてください。

4

ソーラー充電機能について

■ 充電にかかる時間のめやす

以下の時間をめやすに、充電を行ってください。

照度 lx (ルクス)	光源	環境 (めやす)	フル充電まで	確実に1秒運針 になるまで	1日ぶん 動かすには
700	蛍光灯	一般オフィス内	—	60時間	2.5時間
3000	蛍光灯	30W 20cm	110時間	13時間	33分
1万	蛍光灯	30W 5cm	30時間	3.5時間	9分
1万	太陽光	くもり	30時間	3.5時間	9分
10万	太陽光	快晴 (夏の直射日光下)	5時間	36分	2分

「確実に1秒運針になるまで」の数値は、止まっていた時計に光をあてて、確実に1秒運針になるまでに必要な充電時間のめやすです。この時間まで充電しなくても1秒運針になりますが、その状態ではすぐに2秒運針になることがあります。この時間をめやすに充電してください。

※ 充電に必要な時間は、モデルによって若干異なります。

エネルギーについて

エネルギー残量が少なくなると、秒針が2秒ごとに動く「2秒運針」になります。その後、エネルギーが切れると時計が停止します。「2秒運針」になったときは、十分な充電をしてお使いください。

充電のしかた…………… P.33
充電にかかる時間のめやす…………… P.34

- ・2秒運針中は、ストップウォッチの操作をしても作動しません。(故障ではありませんので、ご安心ください。)
- ・ストップウォッチ計測中に2秒運針となった場合は、ストップウォッチ針が0分0秒位置に戻り計測がリセットされます。

お手入れについて

●日ごろからこまめにお手入れしてください

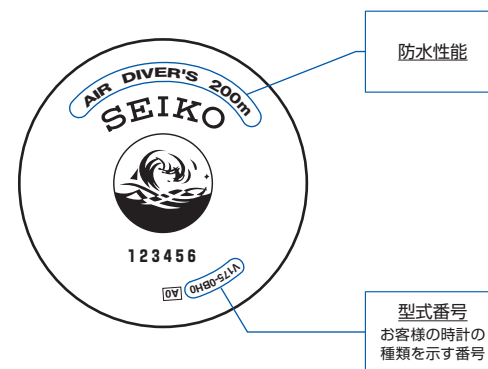
- ・ りゅうずを引き出して洗わないでください。
- ・ 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
- ・ 海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
- ※ 「非防水」、「日常生活用防水」の場合は、おやめください。
→ 性能と型式について P.37

●りゅうずは時々回してください

- ・ りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ・ ねじロック式りゅうずの場合も同様です。 → りゅうずについて P.18

性能と型式について



時計の裏ぶたで性能と型式の確認ができます。



※ 上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

耐磁性能について (磁気の影響)

この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気製品より 10 cm以上遠ざける必要があります。
	磁気製品より 5 cm以上遠ざける必要があります。 (JIS1 種)
	磁気製品より 1 cm以上遠ざける必要があります。 (JIS2 種)

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁気の影響を受けます。

バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

●金属バンド

- ・ ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- ・ 手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- ・ 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- ・ バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。
(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- ・ チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- ・ さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- ・ 万が一、ピンが飛び出している場合は、けがをするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



携帯電話
(スピーカー部)



ACアダプター



バッグ
(磁石の止め金)



交流電気がみそり



電磁調理器



携帯ラジオ
(スピーカー部)



磁気ネックレス



磁気健康枕

●皮革バンド

- ・ 水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- ・ 水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- ・ 直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- ・ 色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- ・ 時計本体が日常生活用強化防水 10 (20) 気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

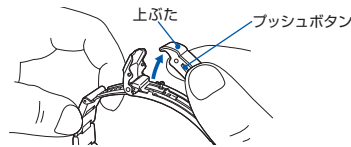
●ポリウレタンバンド

- ・ 光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- ・ 特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- ・ 汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。
(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
- ・ 弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

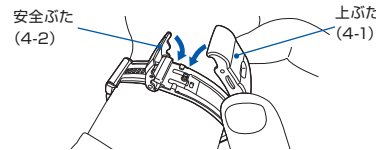
かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズのめやすについて	バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。



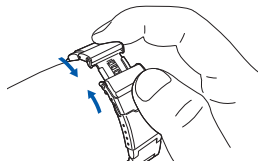
- ③ プッシュボタンを押しながら上ぶたを持ち上げて、中留を開き、手首につける



- ④ 上ぶた (4-1)、安全ぶた (4-2) の順にふたを閉じる



- ⑤ 時計をつけていない方の手で、バンドを適当なところまで縮める

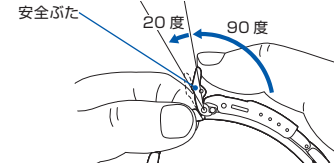


ダイバーアジャスターの使いかた (ダイバーアジャスターつきモデルの場合)

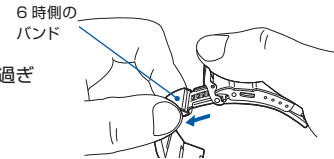
メタルバンドで、ダイバーアジャスター機構がついている場合、バンドの長さを簡単に調節できます。

ウエットスーツや防寒着などの上に時計を着用する際などにお役立てください。

- ① 安全ぶたを90度起こし、さらに20度倒し、そのまま軽く押さえる
- ・ 多少抵抗がありますが、軽い力で倒れますので力を入れすぎないようにご注意ください。



- ② 6時側のバンドをバンドのカーブに沿う方向に(曲線を描くように)引く
- ・ この操作も軽い力で出来ますので、力を入れ過ぎないようにしてください。
 - ・ スライダーは約30mm伸びます。無理に引き出さないようにご注意ください。

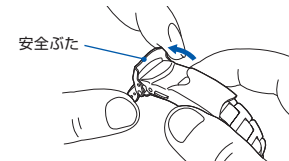


ダイバーエクステンダーの使いかた (ダイバーエクステンダーつきモデルの場合)

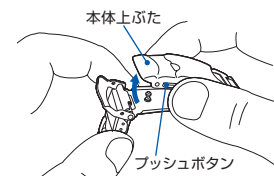
メタルバンドで、ダイバーエクステンダー機構がついている場合、バンドの長さを簡単に調節できます。

ウエットスーツや防寒着などの上に時計を着用する際などにお役立てください。

- ① 安全ぶたを開く

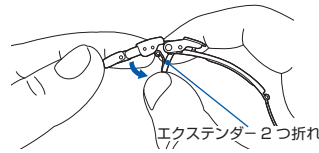


- ② ボタンを押しながら本体上ぶたを開く
- 安全ぶたは危険防止のため、元の位置に戻します。



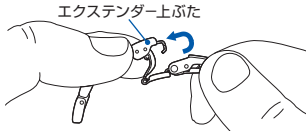
3 エクステンダー 2 つ折れを矢印の方向に開く

この時抵抗があり、カチッと音がします。



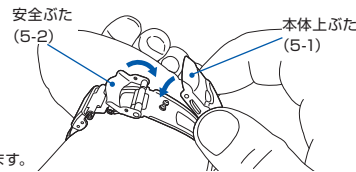
エクステンダー 2 つ折れ

4 エクステンダー上ぶたを矢印の方向にスライドさせながら上へ引いて開く



エクステンダー上ぶた

5 腕に着け、本体上ぶた (5-1)、安全ぶた (5-2) の順にふたを閉じる



※ 短くするときは逆の手順でたたんでください。
エクステンダーの 2 つ折れ部分をたたむとき、カチッと音がします。

使用電源について

この時計には、一般の酸化銀電池とは異なる専用の二次電池を使用しています。二次電池とは、乾電池やボタン電池のような使い捨ての電池とは異なり、充電と放電をしながら繰り返し使用可能な電池です。

長期的な使用や使用環境により、容量や充電効率が少しずつ低下する場合があります。また、長期間使用すると、機械部品の磨耗や汚れ、潤滑油の劣化等によって持続時間が短くなる場合があります。性能が低下し始めたら修理にお出ください。

警告

■ 二次電池交換時のご注意

- 二次電池は取り出さないでください。
二次電池の交換には専門知識・技能が必要です。お買い上げ店にご依頼ください。
- 一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂、発熱、発火などのおそれがあります。

ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間 (約 10 分間 : 500 ルクス以上) で吸収して蓄え、暗い中で長時間 (約 3 時間 ~ 5 時間) 発光します。光が当たらなくなってから輝度 (明るさ) は、時間の経過とともに弱まります。なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。

※ 一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐには順応しません。初めはものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。(目の暗順応)

※ ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境に安全な蓄光 (蓄えた光を放出する) 塗料です。

< 照度のめやすについて >

環境		明るさ (照度) のめやす
太陽光	晴れ	100,000 ルクス
	< 曇り	10,000 ルクス
屋内 (昼間窓際)	晴れ	3,000 ルクス以上
	< 曇り	1,000 ~ 3,000 ルクス
照明 (白色蛍光灯 40W の下で)	雨	1,000 ルクス以下
	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス (通常室内レベル)
	4m	250 ルクス

※ 過充電防止機能

フル充電までの所要時間を超えて充電しても、時計が破損することはありません。二次電池がフル充電になると、それ以上充電されないように、自動的に過充電防止機能がはたらきます。

※ フル充電までの所要時間については「充電にかかる時間のめやす P.34」を参照してください。

警告

■ 充電時のご注意

- 充電の際、撮影用ライト、スポットライト、白熱ライト (球) などに、近づけ過ぎると、時計が高温になり内部の部品等が損傷を受けるおそれがありますのでおやめください。
- 太陽光にて充電する際も、車のダッシュボード等では、かなりの高温となり故障の原因となる場合がありますので、おやめください。
- 時計が 60℃ 以上にならないようにしてください。

アフターサービスについて

●保証と修理について

- ・修理や点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
- ・保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- ・保証内容は保証書に記載したとおりです。保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- ・保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

●補修用性能部品について

- ・この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- ・修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

ストップウォッチ針（1/5秒・分）の基準位置を合わせる

ストップウォッチをリセットしてもストップウォッチ針が0分0秒位置に停止しないときは、基準位置がずれていることが考えられます。

ストップウォッチ針（1/5秒・分）の基準位置は、それぞれ「0秒・0分」です。
基準位置を合わせることで、正しい計測結果が表示されます。

基準位置がずれる理由として、以下のことが考えられます。

- ・強い衝撃を受けたとき：落とす、強くぶつけるなどの衝撃によってずれることがあります。
- ・磁気の影響を受けたとき：磁気を発するものに近づけることでずれることがあります。
→ 時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例 P.39

※ ストップウォッチ針の基準位置合わせを行うと時刻がずれます。基準位置合わせを行ったあとは基本時計の時刻を合わせなおしてください。

●点検調整のための分解掃除（オーバーホール）について

- ・長くご愛用いただくために、2年～3年に1度程度の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）をおすすめします。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。点検調整のための分解掃除（オーバーホール）は、「純正品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
- ・点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

① 時計が動いていることを確認する

秒針が1秒ごとに運針していることを確認してください。
2秒ごとに運針している、または秒針が停止している場合は、文字板に光をあてて充電してください。→ 充電について P.33

② りゅうずを2段引く

秒針が止まります。

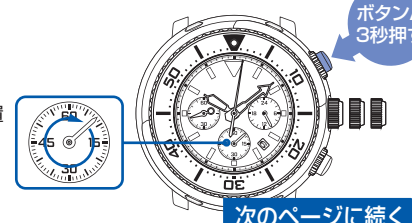
※ ねじロック式りゅうずの場合は、
ロックを外してください。
→ りゅうずについて P.18



③ ストップウォッチ分針が動くまでボタンAを押す（3秒）

ストップウォッチ分針が1回転し、「ストップウォッチ分針」の基準位置合わせモードに入ります。

※ ストップウォッチ分針がどの針が分からないときは、「各部の名称と主なはたらき P.17」をご確認ください。

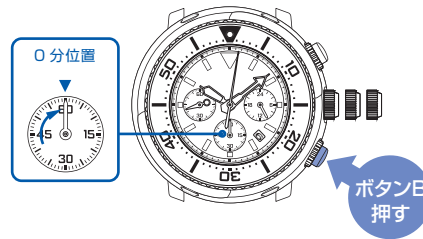


次のページに続く

4 ボタンBを押して
ストップウォッチ分針を
「0分」にする

1分送り	1回押して離す
連続送り	2秒以上押し続けると動き出し、 離すと止まる

※「0分」の場合は、5の操作へ



5 ストップウォッチ1/5秒針が動くまで
ボタンAを押す(3秒)

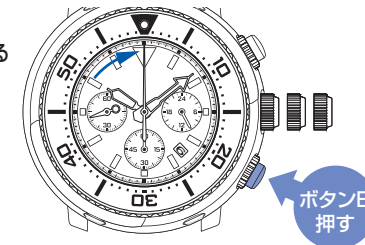
ストップウォッチ1/5秒針が1回転し、「ストップウォッチ1/5秒針」の基準位置合わせモードに入ります。



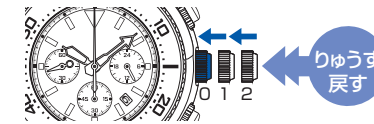
6 ボタンBを押して
ストップウォッチ1/5秒針を「0秒」にする

1/5秒送り	1回押して離す
連続送り	2秒以上押し続けると動き出し、 離すと止まる

※「0秒」の場合は、7の操作へ



7 りゅうずを押し戻す



8 基本時計を合わせる → 時刻と日付の合わせかた P.20

基準位置合わせを行うと基本時計の時刻がずれます。
基本時計を合わせたら操作は終了です。

こんなときは

こんなときは	考えられる原因	このようにしてください	参照ページ
時計が止まった	エネルギーが無くなったか少なくなっています。毎日身につけていて、この現象が起こる場合は、携帯中に時計が衣類の袖の中に隠れているなど、十分に光があたっていないことが考えられます。	秒針が1秒ごとに運針するまで、十分な充電をしてください。	P.33
秒針が2秒ごとに運針している		携帯中は、なるべく時計が袖などに隠れないように気をつけてください。また、時計を外した際にもなるべく明るい場所に置くことを心がけてください。	
止まっていた時計を「フル充電までの所要時間」を超えて充電しても1秒運針にならないまたは動かない	あてる光が弱い。 充電時間が短い。 時計内部のシステムが不安定になっている。	照度によって充電にかかる時間は変わります。「充電にかかる時間のめやす」を参考に、充電を行ってください。それでも動かなければ、「万が一、異常な動きになったとき」を参照し、操作をしてください。	P.34 P.60
時計が一時的に進む、または遅れる	時計を暑いところ、または寒いところに放置した。	「万が一、異常な動きになったとき」を参照し、操作をしてください。	P.60
	磁気を発生するもののそばに置いた。	常温に戻れば元の精度に戻ります。時刻を合わせなおしてください。この時計は5℃～35℃で腕につけたときに安定した時間精度が得られるように調整してあります。	P.20
	落としたり、強くぶついたり、または激しいスポーツをしたなど、強い衝撃や振動が加えられた。	磁気を遠ざけると、元の精度に戻ります。時刻を合わせなおしてください。元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。	P.20
		時刻を合わせなおしてください。元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。	P.20

こんなときは	考えられる原因	このようにしてください	参照ページ
ストップウォッチをリセットしても0分0秒位置に戻らない	ストップウォッチ針の基準位置がずれている。 外部からの影響やシステムリセットなどにより、針の基準位置がずれているときに起こります。	ストップウォッチ針の基準位置を合わせてください。	P.52
ボタンが機能しない (操作しても動かない)	エネルギー残量が少なくなっている。	秒針が1秒ごとに運針するまで、十分な充電をしてください。	P.33
ガラスのくもりが消えない	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	お買い上げ店にご相談ください。	-
日付が日中に変わる	時刻が12時間ずれている。	12時間、針を進めて時刻を合わせなおしてください。	P.20

※ 記載以外の現象はお買い上げ店にご相談ください。

万が一、充電しても動かない、または異常な動きになったとき

万が一、十分に充電しても動かないときや1秒運針にならないとき、または異常な動きになったときは、次の操作を行うことで正常に機能するようになります。

■ システムリセットをする

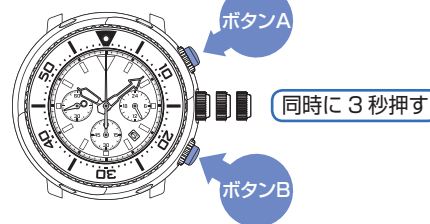
① りゅうずを2段引く

秒針が止まります。

※ ねじロック式りゅうずの場合は、
ロックを外してください。
→ りゅうずについて P.18



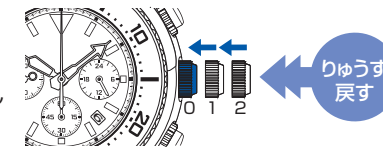
② ボタン A、B を同時に3秒押す



③ りゅうずを押し戻す

秒針が動きはじめます。

秒針が2秒ごとに運針をしているときは、
1秒ごとの運針になるまで十分な充電をしてください。 → P.33



④ ストップウォッチ針 (1/5秒・分) の基準位置を合わせた後、時刻・日付を合わせる

・ ストップウォッチ針 (1/5秒・分) の基準位置の合わせかた → P.52

・ 時刻・日付を合わせる → P.20

ストップウォッチ針 (1/5秒・分) の基準位置と、時刻・日付を合わせたら操作は終了です。

製品仕様

型式番号	V175
1. 基本機能	基本時計 3 針 (時・分・秒針) 24 時針 日付表示 ストップウォッチ針 (1/5 秒・分針)
2. 水晶振動数	32,768Hz (Hz = 1 秒間の振動数)
3. 精度	平均月差 ±15 秒以内 (気温 5°C ~ 35°C において腕に着けた場合)
4. 作動温度範囲	-10°C ~ +60°C
5. 駆動方式	ステップモーター式 3 個
6. 使用電源	専用二次電池 : 1 個
7. 持続時間	約 6 ヶ月 (1 日の使用条件が、ストップウォッチ 1 時間)
8. 電子回路	発振、分周、駆動、充電回路 : IC 1 個

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

Thank you very much for choosing a SEIKO watch.
For proper and safe use of your SEIKO watch,
please read carefully the instructions in this
booklet before using "it".

Keep this manual handy for easy reference.

※ Length adjustment service for metallic bands is available at the retailer from whom the watch was purchased. If you cannot have your watch repaired by the retailer from whom the watch was purchased because you received the watch as a gift, or you moved to a distant place, please contact SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.

The service may also be available on a chargeable basis at other retailers, however, some retailers may not undertake the service.

※ If your watch has a protective film for preventing scratches, make sure to peel it off before using the watch. If the watch is used with the film on it, dirt, sweat, dust, or moisture may be attached to the film and may cause rust.

Contents

1. About this product

Handling cautions	66
Precautions for diving (Please make sure to observe the following.)	72
How to use the rotating bezel	76
Features	78
Names of the parts and functions	79
V175: Equipped with a stopwatch and 24-hour hand	79
Screw-lock type crown	80
Screw-lock type button	81

2. How to set the time and date

How to set the time and date	82
How to set the time and date	82
Manual date adjustment at the end of the month ...	86

3. How to use the stopwatch

Stopwatch function	88
The names of the parts and functions of the stopwatch	88
Before using the stopwatch	89
How to use the stopwatch	91

4. Solar charging function

About charging	95
How to charge the watch	95
Standard charging time	96
About energy	97

5. To preserve the quality of your watch

Daily care	98
Performance and type	99
Magnetic resistance	100
Band	102
How to use the diver adjuster	105
How to use the diver extender	107
Lumibrite	109
Power source	110
After-sale service	112

6. Troubleshooting

Adjusting the preliminary position of the stopwatch 1/5-second and minute hands	114
At trouble	118
Abnormal display or improper function ...	122
Resetting the built-in IC	122

7. Specifications

Specifications	124
----------------------	-----

Handling cautions

⚠️ WARNINGS

Make sure to read the following instructions before use and strictly observe them.

⚠️ WARNING

When diving, never carry out operations other than those specified in this instruction manual. Mishandling of the product and misunderstanding of the displayed content may lead to a fatal or serious accident.

⚠️ WARNING

The diver's watch is an auxiliary instrument which mainly displays the passage of time and does not ensure the safety of a user. Use this watch while using the equipment (residual pressure gauge, water depth meter, etc.) required for safe diving.

⚠️ WARNING

Never use this watch for "saturation diving" using helium gas.

⚠️ WARNING

Do not dive using this product unless you have been properly trained in scuba diving, acquired the requisite experience and techniques for safe diving, thoroughly familiarized yourself with the operation and handling of this product, and inspect all functions of this product prior to each dive.

⚠️ CAUTIONS

Make sure to read the following instructions before use and strictly observe them.

⚠️ CAUTION

Inspect the following items before diving (excluding saturation diving).

- The watch is operating normally.
- The remaining battery level is sufficient and the mainspring is sufficiently wound.
- The rotating bezel turns smoothly. (The bezel rotation must not be too loose or too tight.)
- Screws of the crown and other parts are reliably tightened.
- No abnormalities such as flaws or cracks exist on the band or glass.
- The band is reliably fixed (with spring bar, buckle or other parts.)

※ If any abnormality is observed in the above items, do not use this watch for diving.

⚠️ CAUTION

Do not operate the crown or buttons under water.

⚠️ CAUTION

As the use environment of the diver's watch may affect not only the case or band but also the internal mechanism of the watch, we recommend that you periodically request an overhaul for inspection and adjustment approximately once every two to three years.

⚠️ DANGER

To indicate the risks of serious consequences such as severe injuries unless the following safety regulations are strictly observed.

- Immediately stop wearing the watch in following cases.

- If the watch body or band becomes edged by corrosion etc.
- If the pins protrude from the band
- ※ Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.

- Keep the watch and battery and/or accessories out of the reach of babies and children.

Care should be taken to prevent babies or children from accidentally swallowing the battery or accessories. If a baby or child swallows the battery or accessories, or you believe they may have swallowed them, immediately consult a doctor as it may harm the health of the baby or child. Ingesting the battery and/or accessories may cause chemical burns or penetration of the mucous membrane, which may lead to serious injuries or even death.

- Do not remove the battery from the watch.

Replacement of the battery requires professional knowledge and skill. Please ask the retailer from whom the watch was purchased for replacement of the battery. Do not recharge the battery. Doing so can cause heat generation, bursting or ignition.

⚠️ CAUTIONS

To indicate the risks of light injuries or material damages unless the following safety regulations are strictly observed.

- Avoid wearing or storing the watch in the following places.

- Places where volatile agents (cosmetics such as polish remover, bug repellent, thinners etc.) are vaporizing
- Places where the temperature drops below 5 °C or rises above 35 °C for a long time
- Places of high humidity
- Places affected by strong magnetism or static electricity
- Dusty places
- Places affected by strong vibrations

- If you observe any allergic symptoms or skin irritation

Stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist.

- Other cautions

- Replacement of the metal band requires professional knowledge and skill. Please ask the retailer from whom the watch was purchased for replacement of the metal band, as there is a risk of hand or finger injury and fear of losing parts.
- Do not disassemble or tamper with the watch.
- Keep the watch out of the reach of babies and children. Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.
- When disposing of used batteries, follow the instructions of your local authorities.
- If your watch is of the fob or pendant type, the strap or chain attached to the watch may damage your clothes, or injure the hand, neck, or other parts of your body.

⚠ DANGER

To indicate the risks of serious consequences such as severe injuries unless the following safety regulations are strictly observed.

- Make sure you carefully check the depth rating indicated on the watch dial or on the case back, and never use the watch underwater deeper than the specified depth.
- During diving, do not operate in any way except as instructed in this instruction manual. Any misuse without the correct understanding of the instructions may cause serious injuries or even death.

⚠ WARNING

To indicate the risks of light injuries or material damages unless the following safety regulations are strictly observed.

Before using the diver's watch, you have to be properly trained in various types of diving and possess the requisite experience and skill to dive safely. When diving, strictly abide by the rules of diving.

⚠ CAUTION

To indicate the risks of light injuries or material damages unless the following safety regulations are strictly observed.



Do not turn or pull out the crown when the watch is wet.
Water may get inside of the watch.

※ If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.



Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time.

Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.



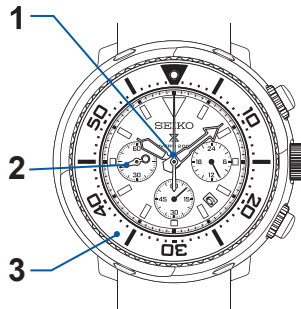
Do not wear the watch while taking a bath or a sauna.
Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.

Precautions for diving (Please make sure to observe the following.)**■ Before diving**

Before diving, check the following:

※ "Names of the parts" → page 79.

- ① The time is correctly set.
- ② Check that the second hand is moving at one-second intervals. If the second hand is moving at two-second intervals or the second hand has stopped, charge the watch by exposing the dial of the watch to light. About charging → page 95.
- ③ The rotating bezel turns smoothly. (The bezel rotation must not be too loose or too tight.)
※ "How to use the rotating bezel" → page 76.

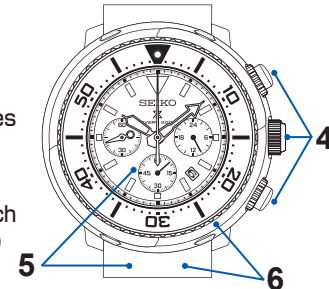


- ④ The crown and the buttons are completely screwed in.

※ "Screw lock type crown" → page 80.
※ "Screw lock type button" → page 81.

- ⑤ There are no visible cracks or scratches on the crystal or watch band.

- ⑥ The band is firmly attached to the watch (with spring bars, clamp or other parts.)

**⚠ CAUTION**

If there are any malfunctions, contact the retailer from whom the watch was purchased.

While diving

Please observe the following cautions for use.



The watch can be used for air diving within the water resistant range displayed on the dial.



Do not operate the crown and button in the water.



Take care not to bump the watch against hard objects such as rocks



Bezel rotation may become slightly harder in the water but this is not a malfunction.

After diving

Please follow the care instructions below after diving.




Rinse the watch in fresh water to wash out all seawater and wipe it thoroughly dry to prevent rust. Avoid pouring running water onto the watch directly from a faucet. Put some water into a bowl first, and then soak the watch in to the water to wash it.

CAUTION

Depending on the environment where a diver's watch is used, its inner parts or movement as well as its case or band may be affected. We recommend that you have your watch overhauled regularly once every 2 or 3 years.

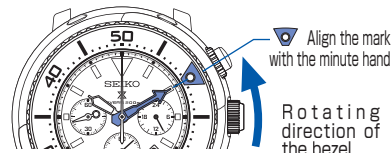
How to use the rotating bezel

By setting the rotating bezel beforehand, the elapsed time since the start of an event can be measured.

- At the start of the event, for which you want to measure the elapsed time (for example, when you start diving), rotate the bezel so that the  mark on the bezel is aligned with the minute hand.

※ The rotating bezel is designed to rotate only counterclockwise. Do not forcibly rotate it clockwise.
[One-Way rotating bezel] → the next page

Example: When you start diving at 10:10 am.



After 20 minutes has elapsed

- Read the graduation on the rotating bezel to which the minute hand is pointing. The graduation on the rotating bezel to which the minute hand is pointing indicates the elapsed time.

※ The above illustration is provided as an example, therefore it may not be exactly the same as your watch.



[One-Way rotating bezel]

As the evaluation of the remaining air in your cylinder is based on the information of the elapsed time of the dive, the rotating bezels for a diver's watch is designed to rotate only counterclockwise, so that the watch is prevented from displaying the elapsed time shorter than it actually is.

CAUTION

Make sure that you check the correct remaining amount of air in your cylinder before diving.
Use the display of the elapsed time by the rotating bezel only as a guide during diving.

Features

1

About this product

This solar watch is equipped with a stopwatch function.

- A full-scale stopwatch, which can measure in 1/5-second increments with the center hand, is equipped.
- A solar cell under the dial converts any form of light into "electrical energy" to operate the watch.

※ "Chronograph" means a watch with a stopwatch function.

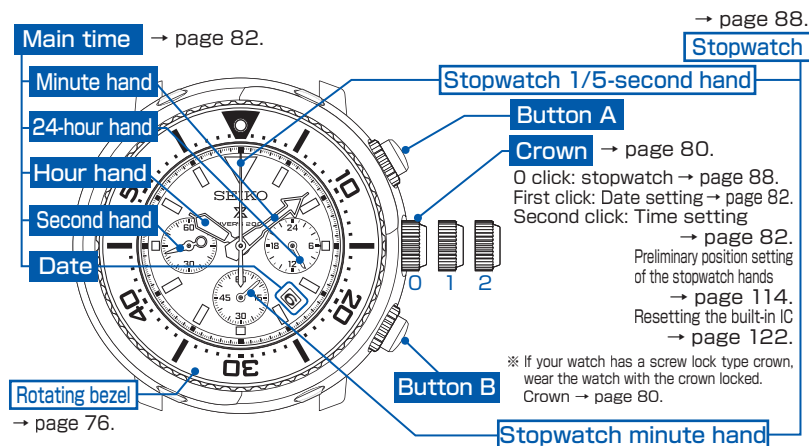
- **Stopwatch function** The stopwatch can measure up to 60 minutes in 1/5-second increments. After measuring 60 minutes, the stopwatch will automatically stop. → page 88.
- **Solar Charging Function** A solar cell underneath the dial converts any form of light into "electrical energy" to operate the watch. Once fully charged, the watch continues to run for approximately six months. → page 95.
- **Water resistant for air diving** This water resistant watch, which can withstand long time usage in water, is designed for diving using a compressed air cylinder (it cannot be worn during saturation diving using helium gas).

78

Names of the parts and functions

1

About this product



79

Screw-lock type crown

1

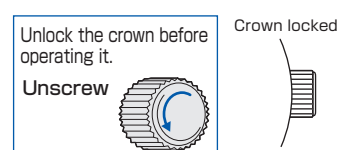
About this product

The watch features a screw-lock mechanism that can securely lock the crown when they are not being operated in order to prevent any operational errors and to improve its water resistant property.

- **It is necessary to unlock the screw-lock type crown before operating it.**
- **Once you have finished operating the crown, make sure to relock it.**

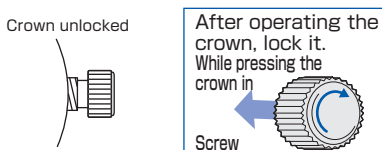
[To unlock the crown]

Turn the crown counterclockwise (downward) to unscrew it.
Now the crown can be operated.



[To lock the crown]

Turn the crown clockwise (upward) while gently pressing it in toward the watch body until it stops.



※ When locking the crown, turn it slowly with care, ensuring that the screw is properly engaged. Be careful not to forcibly push it in, as doing so may damage the screw hole in the case.

80

Screw-lock type button

1

About this product

The watch features a screw-lock mechanism that can securely lock the button when they are not being operated in order to prevent any operational errors and to improve its water resistant property.

[Unlocking the push-buttons]

- Turn Security Lock counterclockwise.
- The buttons can be pushed in.

[Locking the push-buttons]

- Turn Security Lock clockwise.
- The buttons cannot be pushed in.



- **Do not turn the security lock buttons too tightly, if you do, it will be difficult to turn them back again.**
- **Before diving, make sure that both buttons are locked tightly in place.**
- **Do not operate the buttons when the watch is wet or in water.**

81

How to set the time and date

2

How to set the time and date

※ When setting the date only, refer to "Manual date adjustment at the end of the month" on page 86.

1 Check that the watch is operating.

Check that the second hand is moving at one-second intervals.
If the second hand is moving at two-second intervals or the second hand has stopped, charge the watch by exposing the dial of the watch to light. → About charging → page 95.

2 Check that the watch hands are not displaying any time between 9 p.m. and 1 a.m.

If the watch hands are displaying a time between 9 p.m. and 1 a.m., pull out the crown to the second click and turn it to advance the hands to set the time later than 1 a.m.

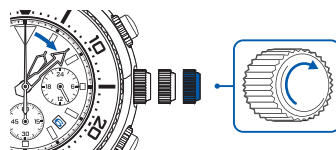
※ This procedure is required to ensure the proper engagement of the date driving wheel.
※ Each time the hour hand makes two full rotations by turning the crown, the date is adjusted one day. While turning the crown, the date changes at exactly midnight. When setting the hour hand, be sure that AM/PM is set correctly (For the models V174 and V175, the 24-hour hand can be used as an AM/PM indicator. → Names of the parts and functions. → page 79.)

How to set the time and date

82

2

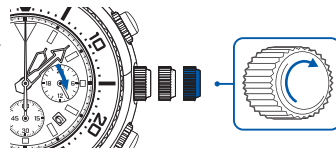
6 For advancing the hands clockwise, turn the crown in the direction of the arrow mark to set the date to the desired day's date.



7 For advancing the hands clockwise, turn the crown in the direction of the arrow mark to set the main time.

When setting the time, be sure that AM/PM is set correctly

※ For models V174 and V175, the 24-hour hand can be used as an AM/PM indicator.
※ Set the minute hand a few minutes ahead of the correct time, and then advance it to the exact minute(s).

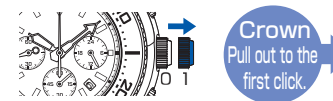


How to set the time and date

84

3 Pull out the crown to the first click.

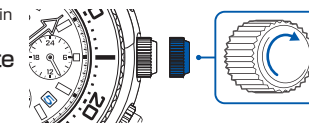
※ The watch continues operating.
※ If your watch has a screw lock type crown, unlock the crown. Crown → page 80.



4 Turn the crown in the direction of the arrow mark to set the date to the previous day's date.

※ The date will not change if the crown is turned in the opposite direction.

Ex. If you would like to set the date to "6," first set it to "5."



5 Pull out the crown to the second click when the second hand is at the 0 second position.

The second hand will stop at the 0 second position.

0 second position



Continue to the next page

2

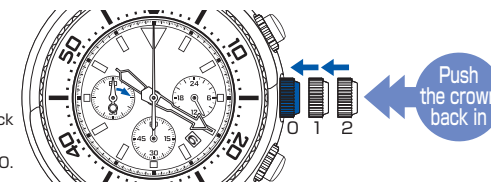
How to set the time and date

83

8 Push the crown back in to the normal position in accordance with a time signal.

The time setting is completed.

※ If your watch has a screw lock type crown, lock the crown. → page 80.



2

How to set the time and date

Continue to the next page

85

Manual date adjustment at the end of the month

The watch automatically displays the date from "1" to "31." Adjust the date on the first day after a month that has less than 31 days: February, April, June, September and November.

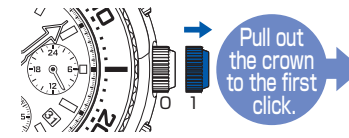
※ When adjusting the date only, carry out this procedure.

- ① **Make sure that the watch is operating.**
Make sure that the second hand is moving at one-minute intervals. If the second hand is moving at two-second intervals, or it has stopped, charge the watch by exposing the dial to light.
About charging → page 95.
- ② **Make sure that the watch hands are not displaying any time between 9:00 p.m. and 1:00 a.m.**
※ If the watch hands are displaying a time between 9 p.m. and 1 a.m., set the time according to the procedure of "How to set the time and date → page 82." or first change the time to the time outside this period, and then set the date and reset the correct time.

- ③ **Pull out the crown to the first click.**

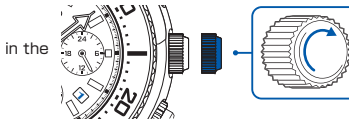
※ The watch continues operating.
※ If your watch has a screw lock type crown, unlock the crown. Crown → page 80.

Ex. If you like to change the date to "31" to "1"



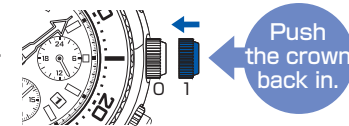
- ④ **Turn the crown in the direction of the arrow mark to set the date.**

※ The date will not change if the crown is turned in the opposite direction.



- ⑤ **Push the crown back in to the normal position.**

※ If your watch has a screw lock type crown, lock the crown. → page 80.



Stopwatch function

The stopwatch can measure up to 60 minutes in 1/5-second increments. After measuring 60 minutes, the stopwatch hands will automatically stop at the 0 minute 0 second position.

The names of the parts and functions of the stopwatch

Stopwatch 1/5-second

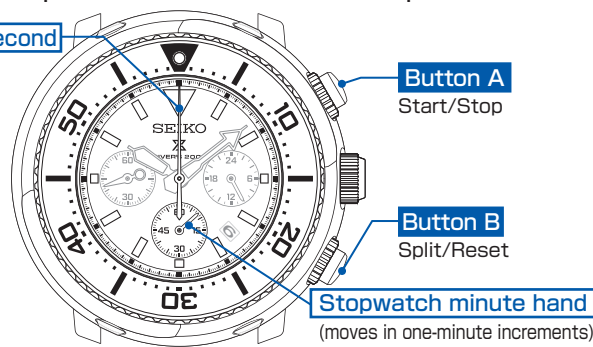
(moves in 1/5-second increments)

Button A
Start/Stop

Button B
Split/Reset

Stopwatch minute hand
(moves in one-minute increments)

※ "Screw lock type button" → page 81.

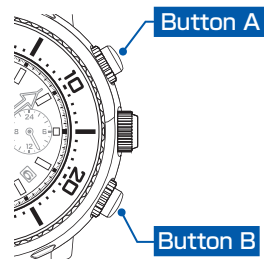


Before using the stopwatch

Before using the stopwatch, reset the stopwatch to make sure that the stopwatch hands (minute and 1/5 second) are reset to the 0 minute 0 second position. Refer to the following procedure for resetting the stopwatch.

※ When the second hand is moving at two-second intervals, the stopwatch cannot be operated.
About energy → page 97.

• **How to reset the stopwatch** ※ The stopwatch can be operated when the crown is at the normal position.



Current status

The stopwatch has stopped.

Operate buttons A and B to start the stopwatch

The stopwatch is operating.

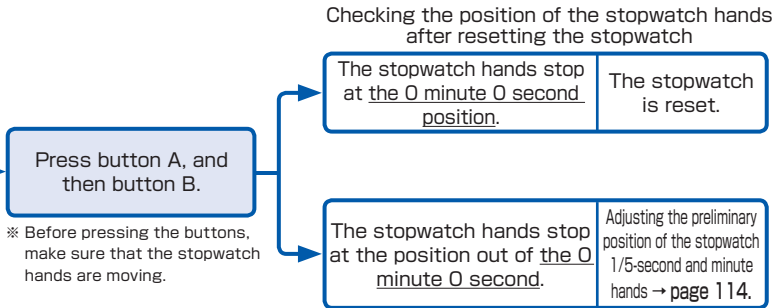
Continue to the next page

If any of the stopwatch hands do not return to 0 minute 0 second when the stopwatch is reset, set the stopwatch hands (1/5-second and minute) to the preliminary position.

Adjusting the preliminary position of the stopwatch 1/5-second and minute hands → page 114.

How to use the stopwatch

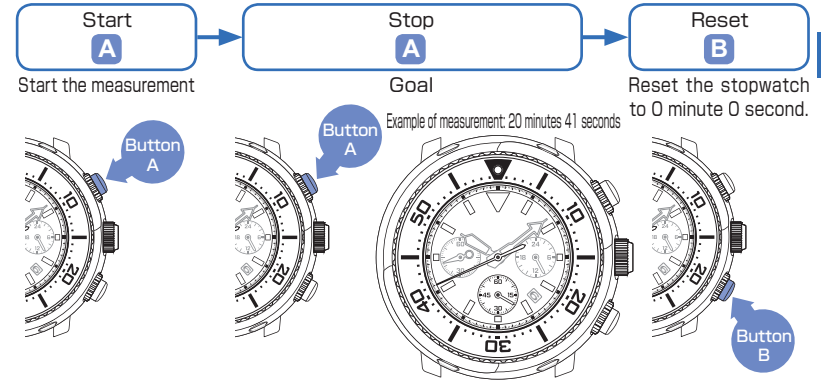
90



How to use the stopwatch

※ When the second hand is moving at two-second intervals, the stopwatch can not be operated. About energy → page 97.

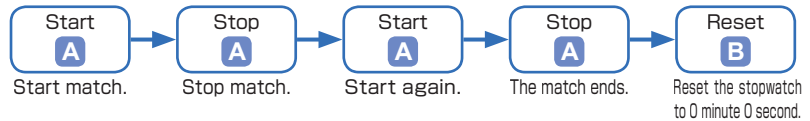
• **Standard measurement** Ex. 500 meters running



How to use the stopwatch

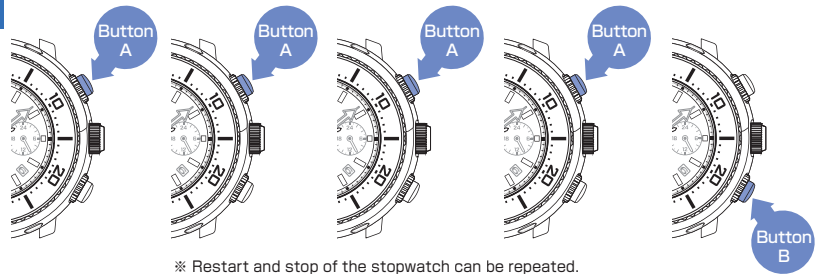
91

• **Accumulated elapsed time measurement** Ex. Measuring the time for a soccer match



How to use the stopwatch

92



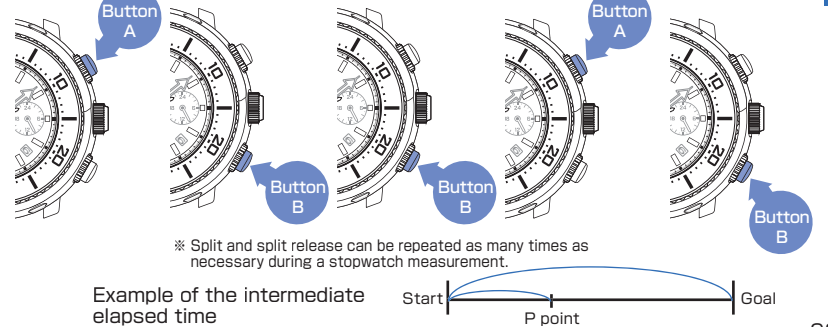
• **Split time (intermediate elapsed time) measurement** Ex. 5000 meter run

※ "Split time" is the time that has elapsed from the start of an activity to any given stage.

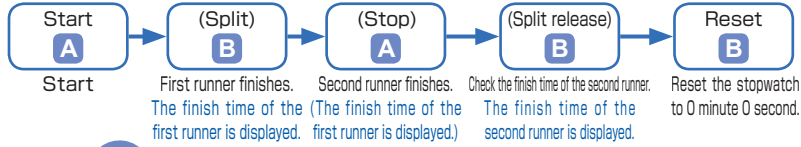


How to use the stopwatch

93



• Measurement of two competitors



3

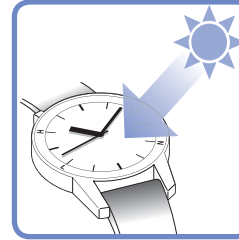
How to use the stopwatch

Ex. Measurement of two competitors

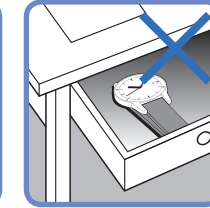
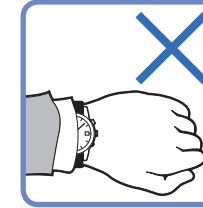
About charging

■ How to charge the watch

Expose the dial to light to charge the watch.



To ensure optimal performance of the watch, make sure that the watch is kept sufficiently charged at all time.



Under the following situations, the energy of the watch is likely to be depleted, resulting in stoppage of the watch.

- The watch is concealed under a sleeve.
- The watch is used or stored under conditions where it cannot be exposed to light for a long time.

- ※ When charging the watch, make sure that the watch is not heated to a high temperature. (The operational temperature range is between -10 °C and + 60 °C.)
- ※ When first using the watch or starting to use the watch after it has stopped because of the energy depletion, sufficiently charge the watch referring to the table on the page 96.

4

Solar charging function

■ Standard charging time

For an approximate time required to charge the watch, refer to the table below.

Illuminance lx(LUX)	Light source	Condition (Example)	Time required for fully charging the watch	Time required for charging the watch to start moving at one-second intervals	Time required for charging the watch to run for one day
700	Fluorescent light	General offices	—	60 hours	2.5 hours
3,000	Fluorescent light	30W 20cm	110 hours	13 hours	33 minutes
10,000	Fluorescent light	30W 5cm	30 hours	3.5 hours	9 minutes
10,000	Sunlight	Cloudy day	30 hours	3.5 hours	9 minutes
100,000	Sunlight	Sunny day (Under the direct sunlight on a summer day)	5 hours	36 minutes	2 minutes

4

Solar charging function

The figures of "Time required for charging the watch to start moving at one-second intervals" are estimations of time required to charge the stopped watch by exposing it to light until it moves at steady one-second intervals. Even if the watch is partially charged for a shorter period, the watch will resume one-second-interval movement. However, it may shortly return to two-second-interval movement. Use the charging time in this column as a rough guide for sufficient charging time.

※ The required charging time slightly varies depending on the model of the watch.

About energy

When the energy stored in the watch is running down, the second hand starts moving at two-second intervals. If the energy runs out, the watch will stop. If the second hand starts moving at two-second intervals, fully charge the watch.

How to charge the watch page 95.

Standard charging time page 96.

- ※ Stopwatch cannot be operated while the second hand is moving at two-second intervals (this is not a malfunction).
- ※ If the second hand starts moving at two-second intervals while the stopwatch is counting, the stopwatch hands return to 0 minute 0 second to reset the measurement.

4

Solar charging function

Daily care

● The watch requires good daily care



- Do not wash the watch when its crown is at the extended position.
 - Wipe away moisture, sweat or dirt with a soft cloth
 - After soaking the watch in seawater, be sure to wash the watch in clean pure water and wipe it dry carefully.
 - ※ If your watch is rated as “Non-water resistant” or “water resistant for everyday life,” do not wash the watch. Do not pour running water directly from faucet onto the watch. Put some water into a bowl first, and then soak the watch in the water to wash it.
- Performance and type → page 99.

● Turn the crown from time to time

- In order to prevent corrosion of the crown, turn the crown from time to time.
- The same practice should be applied to a screw-lock type crown.
Crown → page 80.

Magnetic resistance

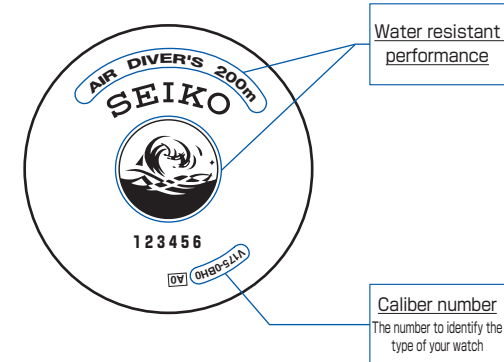
Affected by nearby magnetism,
a watch may temporarily gain or lose time or stop operating.

Indication on the case back	Condition of use
No indication	Keep the watch more than 10 cm away from magnetic products.
	Keep the watch more than 5 cm away from magnetic products. (JIS level-1 standard)
	Keep the watch more than 1 cm away from magnetic products. (JIS level-2 standard)

If the watch becomes magnetized and its accuracy deteriorates to an extent exceeding the specified rate under normal use, the watch needs to be demagnetized. In this case, you will be charged for demagnetization and accuracy readjustment even if it happens within the guarantee period.
The reason why watch is affected by magnetism
The built-in motor is provided with a magnet, which may be influenced by a strong external magnetic field.

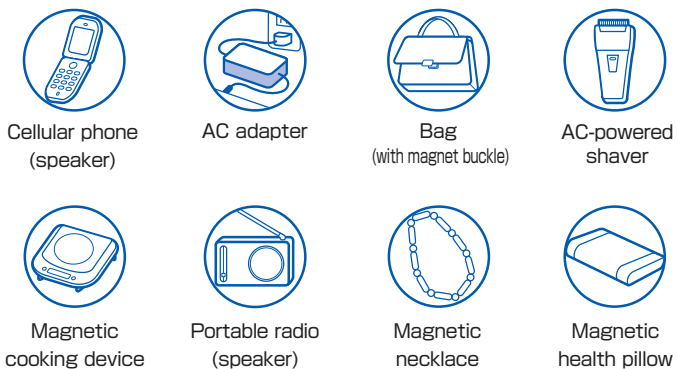
Performance and type

The case back shows the caliber and performance of your watch



※ The figure above is one example. Performance of your watch is different from above sample.

Examples of common magnetic products that may affect watches



Band

The band touches the skin directly and becomes dirty with sweat or dust. Therefore, lack of care may accelerate deterioration of the band or cause skin irritation or stain on the sleeve edge. The watch requires a lot of attention for long usage.


● Metallic band

- Moisture, sweat or soil will cause rust even on a stainless steel band if they are left for a long time.
- Lack of care may cause a yellowish or gold stain on the lower sleeve edge of shirts.
- Wipe off moisture, sweat or soil with a soft cloth as soon as possible
- To clean the soil around the joint gaps of the band, wipe it out in water and then brush it off with a soft toothbrush.
(Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)
- Because some titan bracelets use pins made of stainless steel, which has outstanding strength, rust may form in the stainless steel parts.
- If rust advances, pins may poke out or drop out, and the watch case may fall off the bracelet, or the clasp may not open.
- If a pin is poking out, personal injury may result. In such a case, refrain from using the watch and request repair.

102

● Polyurethane band

- A polyurethane band is susceptible to discoloration from light, and may be deteriorated by solvent or atmospheric humidity.
- Especially a translucent, white, or pale colored band easily adsorbs other colors, resulting in color smears or discoloration.
- Wash out dirt in water and clean it off with a dry cloth.
(Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)
- When the band becomes less flexible, have the band replaced with a new one. If you continue to use the band as it is, the band may develop cracks or become brittle over time.

Notes on skin irritation and allergy	Skin irritation caused by a band has various reasons such as allergy to metals or leathers, or skin reactions against friction on dust or the band itself.
Notes on the length of the band	Adjust the band to allow a little clearance with your wrist to ensure proper airflow. When wearing the watch, leave enough room to insert a finger between the band and your wrist. 

104

● Leather band

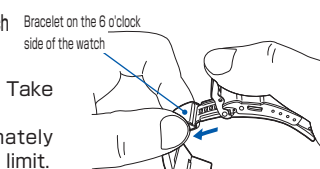
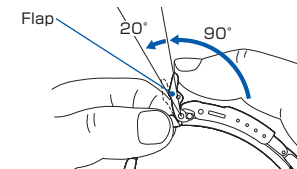
- A leather band is susceptible to discoloration and deterioration from moisture, sweat and direct sunlight.
- Wipe off moisture and sweat as soon as possible by gently blotting them up with a dry cloth.
- Do not expose the watch to direct sunlight for a long time.
- Please take care when wearing a watch with light-colored band, as dirt is likely to show up.
- Refrain from wearing a leather band watch other than Aqua Free bands while bathing, swimming, and when working with water even if the watch itself is water-resistant enforced for daily use (10- or 20-BAR water resistant) .

103

How to use the diver adjuster

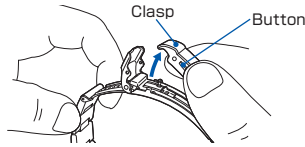
If your watch's metal bracelet has the Diver Adjuster function, the length of the bracelet can be easily adjusted. It is very useful when you wear the watch over a wet suit or winter clothing.

- 1 Lift up the flap approximately 90° until it stands upright, and then press the flap down further approximately 20° and lightly hold it.
 - When doing so, take care not to push the flap forcibly. Although you may feel slight resistance, doing this requires only a light force.
- 2 Lightly pull the bracelet on the 6 o'clock side of the watch along the curved line of the bracelet to pull out the slider.
 - Doing this requires only a light force. Take care not to pull the bracelet forcibly.
 - The slider can be pulled out approximately 30mm. Take care not to pull it out of the limit.

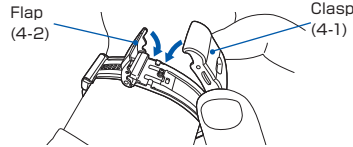


105

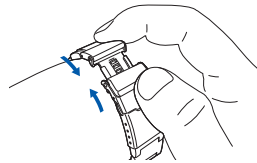
- While pressing the button, lift up the clasp to release the buckle, and place the watch on your wrist.



- Close the clasp (4-1) first and then, the flap (4-2).

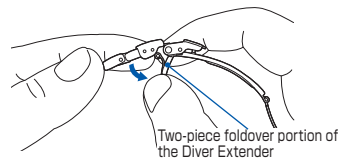


- Hold the both sides of the bracelet to adjust the length of the slider until it fits well around your wrist.

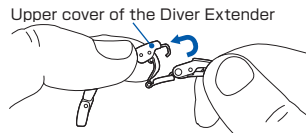


- Open the two-piece foldover portion of the Diver Extender in the direction of the arrow.

Some force is required to open the foldover portion, and it will click when it is opened.

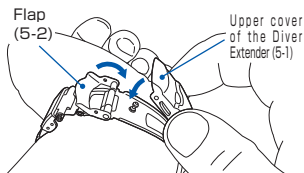


- Slide the upper cover of the Diver Extender in the direction of the arrow, and then, pull it up to extend the two-piece foldover portion of the Diver Extender to the full extent.



- Place the watch on your wrist, and close the clasp first and then, the flap.

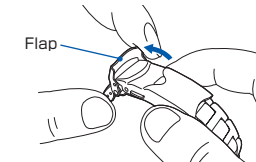
※ To fold up the Diver Extender, reverse the procedure above. When the two-piece folder portion of the Diver Extender is folded up completely, it also clicks in the same manner as it is opened.



How to use the diver extender

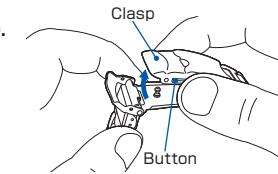
If your watch's metal bracelet has the Diver Extender function, the length of the bracelet can be easily adjusted. It is very useful when you wear the watch over a wet suit or winter clothing.

- Lift up the flap.



- While pressing the button, open the clasp.

After opening the clasp, push the flap back to the normal position for safety's sake.



Lumibrite

If your watch has Lumibrite

Lumibrite is a luminous paint that absorbs the light energy of the sunlight and lighting apparatus in a short time and stores it to emit light in the dark. For example, if exposed to a light of more than 500 lux for approximately 10 minutes, Lumibrite can emit light for 3 to 5 hours. Please note, however, that, as Lumibrite emits the light it stores, the luminance level of the light decreases gradually over time. The duration of the emitted light may also differ slightly depending on such factors as the brightness of the place where the watch is exposed to light and the distance from the light source to the watch.

- ※ In general, when coming from a place that is bright to a place that is dark, it takes human eyes some time to adapt to the darkness making it difficult to see objects initially. (Dark adaptation)
- ※ Lumibrite is luminous paint that stores and emits light, which is harmless to human beings and the environment, containing no toxic materials such as radioactive substances.

Condition		Illumination
Sunlight	Fine weather	100,000 lux
	Cloudy weather	10,000 lux
Indoor (Window-side during daytime)	Fine weather	more than 3,000 lux
	Cloudy weather	1,000 to 3,000 lux
	Rainy weatherr	less than 1,000 lux
Lighting apparatus (40-watt daylight fluorescent light)	Distance to the watch: 1 m	1,000 lux
	Distance to the watch: 3 m	500 lux (average room luminance)
	Distance to the watch: 4 m	250 lux

Power source

The battery used in this watch is a special secondary battery, which is totally different from ordinary silver oxide batteries.

Unlike other disposable batteries such as dry-cell batteries or button cells, this secondary battery can be used over and over again by repeating the cycles of discharging and recharging. However, for various reasons such as long-term use or usage conditions, the capacity or recharging efficiency of the secondary battery may gradually deteriorate. Worn or contaminated mechanical parts or degraded oils may also shorten recharging cycles. If the efficiency of the secondary battery decreases, have the watch repaired.

NOTICE

■ Remarks on replacing the secondary battery

- Do not remove the secondary battery yourself.
- Replacement of the secondary battery requires professional knowledge and skill. Please ask the retailer from whom the watch was purchased for repair.
- Installation of an ordinary silver oxide battery can generate heat that can cause bursting or ignition.

After-sale service

● Notes on guarantee and repair

- Contact the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER for repair or overhaul.
- Within the guarantee period, present the certificate of guarantee to receive repair services.
- Guarantee coverage is provided in the certificate of guarantee. Read carefully and retain it.
- For repair services after the guarantee period has expired, if the functions of the watch can be restored by repair work, we will undertake repair services upon request and payment.

● Replacement parts

- SEIKO makes it a policy to typically keep a stock of replacement parts for this watch for 7 years. Replacement parts are those which are essential to maintaining the functional integrity of the watch. Please keep in mind that if original parts are not available, they may be replaced with substitutes whose outward appearance may differ from the originals.

※ Overcharge prevention function

When the secondary battery is fully charged, the overcharge prevention function is automatically activated to avoid further charging. There is no need to worry about damage caused by overcharging no matter how much the secondary battery is charged in excess of the "time required for fully charging the watch".

※ Refer to "Standard charging time" on page 96 to check the time required for fully charging the watch

NOTICE

■ Notes on charging the watch

- When charging the watch, do not place the watch in close proximity to an intense light source such as lighting equipment for photography, spotlights or incandescent lights, as the watch may be excessively heated resulting in damage to its internal parts.
- When charging the watch by exposure to direct sunlight, avoid places that easily reach high temperatures, such as a car dashboard.
- Always keep the watch temperature under 60°C.

● Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul)

- Periodic inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) is recommended approximately once every 2 to 3 years in order to maintain optimal performance of the watch for a long time. According to use conditions, the oil retaining condition of your watch mechanical parts may deteriorate, abrasion of the parts due to contamination of oil may advance or delay the time significantly, or the watch itself may stop. As the parts such as gasket may deteriorate, water-resistant performance may be impaired due to intrusion of perspiration and moisture. Please contact the retailer from whom the watch was purchased for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul). For replacement of parts, please specify "SEIKO GENUINE PARTS." When asking for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul), make sure that the gasket and push pin are also replaced with new ones. When your watch is inspected and adjusted by disassembly and cleaning (overhauled), the movement of your watch may be replaced.

Adjusting the preliminary position of the stopwatch 1/5-second and minute hands

If any of the stopwatch hands do not return to the 0 minute 0 second position when the stopwatch is reset, the preliminary hand position may be misaligned.

The preliminary position of the stopwatch 1/5 second and minute hands is 0 minute 0 second.

The preliminary position may be misaligned due to the following reasons.

- In the case of a strong impact: Misalignment may occur when dropping or hitting the watch.
 - In the case of a magnetic influence: Misalignment may occur when bringing the watch close to an object which generates magnetism.
- Examples of common magnetic products that may affect watches → page 101.

※ If the preliminary position adjustment is carried out, the watch gains or loses time. After adjusting the preliminary hand position, make sure to reset the main time.

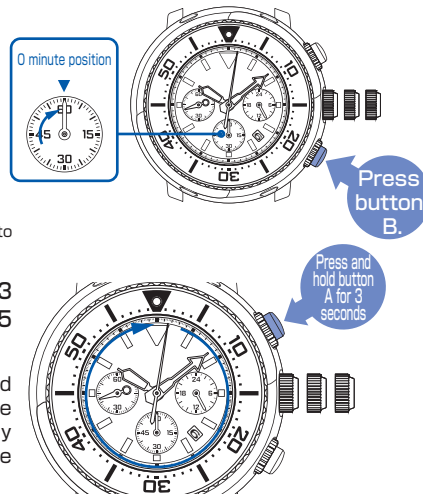
4 Press button B to reset the stopwatch minute hand to 0 minute.

One minute Advance	Press button B once and then release it.
Continuous Advance	When button B is kept pressed for two seconds or longer, the hand will start moving. When button B is released, the hand will stop.

※ If the stopwatch minute hand is reset to 0 minute, continue to procedure **5**.

5 Press and hold button A (for 3 seconds) until the stopwatch 1/5 second hand starts moving.

The stopwatch 1/5-second hand moves one full rotation, and the watch enters the preliminary position adjustment mode of the stopwatch 1/5-second hand.



1 Make sure that the watch is operating.

Make sure that the second hand is moving at one-minute intervals. If the second hand is moving at two-second intervals, or it has stopped, charge the watch by exposing the dial to the light.
→ About charging page 95.

2 Pull out the crown to the second click.

The second hand will stop.

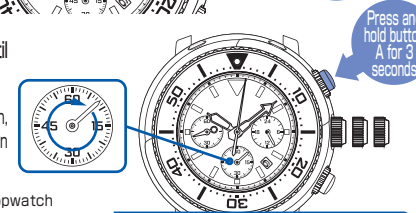
※ If your watch has a screw lock type crown, unlock the crown.
→ Crown page 80.



3 Press and hold button A (for 3 seconds) until the stopwatch minute hand starts moving.

The stopwatch minute hand moves one full rotation, and the watch enters the preliminary position adjustment mode of the stopwatch minute hand.

※ If you do not know which hand is the stopwatch minute hand, refer to Names of the parts and functions on page 79.



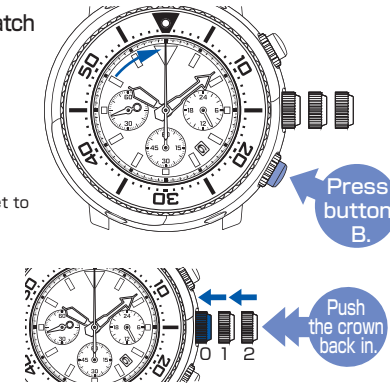
Continue to the next page

6 Press button B to reset the stopwatch 1/5-second hand to 0 minute.

One minute Advance	Press button B once and then release it.
Continuous Advance	When button B is kept pressed for two seconds or longer, the hand will start moving. When button B is released, the hand will stop.

※ If the stopwatch 1/5-second hand is reset to 0 minute, continue to the procedure **7**.

7 Push the crown back in to the normal position.



8 Set the main time. → How to set the time and date page 82.

If the preliminary position adjustment is carried out, the main time may gain or lose time.
When the main time is set, the operation is completed.

At trouble

Trouble	Possible Cause	Solutions	Reference page
The watch has stopped operating. The second hand is moving at two-second intervals.	The stored electric energy has run out or is running down. If this trouble occurs even though you wear the watch everyday, the watch may be unable to receive sufficient light because it is concealed under a long sleeve shirt, etc.	Fully charge the watch until it starts moving at one-second intervals. Make sure that the watch is not concealed under a sleeve while you are wearing the watch. When taking the watch off, place the watch in a location as bright as possible.	P.95
	The stopped watch was expected to an adequate light for longer than "the time required to fully charge the watch," however, it does not resume its normal one-second interval movements or even does not start operating.	The light is too weak. More time is required to fully charge the watch.	The required time charging time differs depending on the level of illuminance. Refer to "Standard Charging Time" to charge the watch. In case that the watch still does not start operating, refer to "Abnormal display or improper function" to reset the built-in IC.
The watch temporarily gains or loses time.	The Built-in IC of the watch has fallen into an unstable condition.	Refer to "Abnormal display or improper function" to reset the built-in IC.	P.122
	The watch has been left in an extremely high or low temperature place for a long time.	Return the watch to a normal temperature so that it works accurately as usual, and then reset the time. The watch has been adjusted so that it works accurately when it is worn on your wrist under a normal temperature range between 5° C and 35° C.	P.82
	The watch is left close to an object with a strong magnetic field. You drop the watch, hit it against a hard surface, or wear it while playing active sports. The watch is exposed to strong vibrations.	Prevent the watch from making close contact with magnetic objects so that the watch works accurately as usual, and then reset the time. If the watch does not work accurately again after the above procedure, contact the retailer from whom the watch was purchased. Reset the time. If the watch does not work accurately as usual after resetting the time, contact the retailer from whom the watch was purchased.	P.82 P.82

118

119

Trouble	Possible Cause	Solutions	Reference page
Any of the stopwatch hands do not return to the 0 minute 0 second position when the stopwatch is reset.	Any of the stopwatch hands are out of the preliminary position. This happens when the stopwatch hands are out of the preliminary position as a result of influence of various external sources or after the built-in IC is reset.	Adjust the preliminary position of stopwatch hands.	P.114
The buttons cannot be operated (cannot be pushed when trying to do so).	The stored electric power is running short.	Fully charge the watch until it starts moving at one-second intervals.	P.95
The inner surface of the glass is clouded.	Moisture has entered the watch because the gasket has deteriorated.	Contact the retailer from whom the watch was purchased.	—
The date changes in the daytime.	AM/PM is not properly set.	Advance the hour hands for 12 hours to correctly set the time and date.	P.82

※ Contact the retailer from whom the watch was purchased for any other troubles.

120

121

Abnormal display or improper function

When the watch shows an abnormal display or does not properly function, or does not move at all or at one-second intervals even after being fully charged, follow the instructions below to reset the built-in IC. Then the watch will resume its normal operation.

Resetting the built-in IC

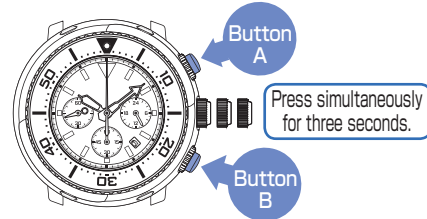
1 Pull out the crown to the second click.

The second hand stops.

※ If your watch has a screw lock type crown, unlock the crown. Crown → page 80.

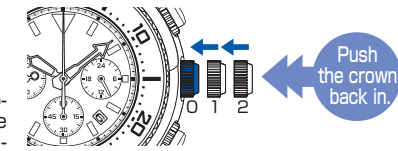


2 Press and hold buttons A and B simultaneously for three seconds, and release.



3 Push the crown back in to the normal position.

The second hand starts moving. If the second hand is moving at two-second intervals, fully charge the watch until it starts moving at one-second intervals. → page 95.



4 Adjust the preliminary position of the stopwatch (1/5-second and minute) hands, and then set the time and date.

- Adjusting the preliminary position of the stopwatch 1/5-second and minute hands → page 114.
- How to set the time and date → page 82.

When the preliminary position of the stopwatch hands (1/5-second and minute) are reset, and time and date are correctly set, the operation of resetting the built-in IC is completed.

Specifications

Caliber number	V175
1. Basic function	Main time with 3 hands (hour, minute, second) 24-hour hand Date display Stopwatch (1/5-second and minute hands)
2. Frequency of crystal oscillator	32,768Hz (Hz = Hertz ... Cycles per second)
3. Loss/gain (monthly rate)	Loss / gain ± 15 seconds on a monthly rate (Except the case when the watch is used without an automatic time setting by receiving a radio signal and when it is worn on the wrist within a normal temperature range between 5°C and 35°C).
4. Operational temperature range	-10°C ~ +60°C
5. Driving system	Step Motor, 3 pieces
6. Power source	Secondary battery, 1 piece
7. Duration of operation	Approx. 6 months (if the stopwatch is used for 1 hour per day.)
8. IC (Integrated Circuit)	Oscillator, frequency divider and driving circuit C-MOS-IC, 1 piece

※ The specifications are subject to change without prior notice for product improvement.

通話料無料 0120-612-911

お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル
〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウォッチ株式会社

<https://www.seikowatches.com/>